

令和6年度(10月期入学)及び令和7年度 金沢大学大学院自然科学研究科 博士前期課程入学試験
解答例

専攻名	機械科学専攻, フロンティア工学専攻, 電子情報通信学専攻, 地球社会基盤学専攻・社会基盤工学コース	
試験科目名	数学(公開用)	P. (1/1)

I 以下 C, C_1, C_2 は任意定数である。

(1) $M = \frac{\sin x \sin y}{\cos^2 x}, N = \frac{\cos y}{\cos x}$ とおくと, $M_y = N_x = \frac{\cos y \sin x}{\cos^2 x}$ なので, 完全微分方程式である。
よって一般解は, $\int_0^x \frac{\sin \xi \sin y}{\cos^2 \xi} d\xi + \int_0^y \cos \eta d\eta = \frac{\sin y}{\cos x} = C$, すなわち, $\sin y = C \cos x$.

(2) ベルヌーイの微分方程式である。 $u = y^{-2}$ とおくと, u は, 線形微分方程式 $u' - 4xu = 2e^{2x^2}$ の解で, $u = e^{2x^2}(2x + C)$ である。よって, 一般解は, $y^2 e^{2x^2}(2x + C) = 1$.

(3) 2階斉次線形微分方程式である。特性方程式 $s^2 + 3s + 2 = 0$ の解は, -2 と -1 なので, 一般解は, $y = C_1 e^{-2x} + C_2 e^{-x}$.

(4) 特殊解を $Y = Ax^2 + Bx + C$ とおいて, 微分方程式に代入すると, $A = 1, B = -2, C = 2$ を得る。よって, $Y = x^2 - 2x + 2$ で, (3) と合わせて, 一般解は, $y = C_1 e^{-2x} + C_2 e^{-x} + x^2 - 2x + 2$.

II 問1 $\text{rot } A = (2xy - xy, 0 - y^2, yz + 1) = (xy, -y^2, yz + 1)$.

問2 $\frac{\partial r}{\partial u} \times \frac{\partial r}{\partial v} = (0 \cdot 2v - 1 \cdot 2u, 2u \cdot 0 - 2v \cdot 1, 1 \cdot 1 - 0 \cdot 0) = (-2u, -2v, 1)$ より, $n = \frac{(-2u, -2v, 1)}{\sqrt{4u^2 + 4v^2 + 1}}$.

問3 円周 ∂S は, $c = (\cos \theta, \sin \theta, 1)$ ($0 \leq \theta \leq 2\pi$) で表され, 単位接ベクトルは, $dc = (-\sin \theta, \cos \theta, 0) d\theta$ である。よって, ストークスの定理を用いると

$$\iint_S \text{rot } A \cdot n dS = \int_{\partial S} A \cdot dc = \int_0^{2\pi} (\cos \theta - \sin \theta, \cos \theta \sin \theta, \cos \theta \sin^2 \theta) \cdot (-\sin \theta, \cos \theta, 0) d\theta = \pi.$$

III 問1 $z = e^{i\theta}$ ($0 \leq \theta \leq 2\pi$) と変数変換すれば, $\int_0^{2\pi} e^{-in\theta} e^{ie^{2i\theta}} d\theta = \int_C z^{-n} e^{iz^2} \frac{dz}{iz} = -i \int_C \frac{e^{iz^2}}{z^{n+1}} dz$.
 $n = -1, 0, 1$ に対する右辺の複素積分は, それぞれ, コーシーの積分定理, コーシーの積分公式, グルサの公式を適用すると, $\int_C e^{iz^2} dz = 0, \int_C \frac{e^{iz^2}}{z} dz = 2\pi i, \int_C \frac{e^{iz^2}}{z^2} dz = 2\pi i \frac{d}{dz} e^{iz^2} \Big|_{z=0} = 0$ である。よって, 求める積分の値は, $n = \pm 1$ のときは 0 , $n = 0$ のときは 2π .

問2 オイラーの公式より, $e^{ie^{2i\theta}} = e^{i\{\cos 2\theta + i \sin 2\theta\}} = e^{-\sin 2\theta} e^{i \cos 2\theta} = e^{-\sin 2\theta} \{\cos(\cos 2\theta) + i \sin(\cos 2\theta)\}$ なので, 実部は, $e^{-\sin 2\theta} \cos(\cos 2\theta)$, 虚部は, $e^{-\sin 2\theta} \sin(\cos 2\theta)$.

問3 問1と問2より, $\int_0^{2\pi} e^{-\sin 2\theta} \cos(\cos 2\theta) d\theta = 2\pi$ である。この左辺の積分は, 積分範囲を $\theta = \pi$ で2分割して, 後半の積分に変数変換 $\varphi = \theta - \pi$ を適用すると, $\int_{\pi}^{2\pi} e^{-\sin 2\theta} \cos(\cos 2\theta) d\theta = \int_0^{\pi} e^{-\sin 2\varphi} \cos(\cos 2\varphi) d\varphi$ であることから, $2 \int_0^{\pi} e^{-\sin 2\theta} \cos(\cos 2\theta) d\theta$ に等しい。よって, 求める積分の値は, π である。

IV 問1 部分積分を2回行くと,

$$\int_0^1 f(x) \sin kx dx = \int_0^1 (-x^2 + 1) \sin kx dx = \frac{1}{k} + \frac{2}{k^3} - \frac{2}{k^2} \sin k - \frac{2}{k^3} \cos k.$$

問2 $x = -1$ とすると, $\sin k = 0$ が得られることから, $k = n\pi$ (n は自然数) と表せる。またこのとき, 任意の x に対して, $\sin kx = \sin k(x + 2)$ は成立する。

問3 $f(x)$ は, 不連続点を除いて奇関数なので, フーリエ正弦級数を求める。問1の結果を用いて,

$$b_n := 2 \int_0^1 f(x) \sin(n\pi x) dx = \frac{2}{n\pi} + \frac{4}{(n\pi)^3} (1 - (-1)^n) \text{ だから, フーリエ級数は,}$$

$$f(x) \sim \sum_{n=1}^{\infty} \left(\frac{2}{n\pi} + \frac{4}{(n\pi)^3} (1 - (-1)^n) \right) \sin(n\pi x).$$